

下呂更生保護
サポートセンター
だより

第 73 号

〒509-2517 下呂市萩原町萩原 1359 番地 1
TEL/FAX 0576-20-4216
E-mail gerohogoshikai@ccn.aitai.ne.jp

法務大臣表彰
市長報告

小坂中学校 中谷友津さん

第 7 5 回「社会を明るくする運動」作文コンテスト
優秀賞（岐阜新聞社賞）受賞

1 月 6 日、岐阜地方検察庁にて、第 7 5 回「社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式があり、小坂中学校 3 年の中谷友津さんが優秀賞を授与されました。



作文コンテストは平成 5 年から始まり、今年で 33 回目。中学校の部 2371 点の中から厳正なる審査を経ての受賞とのことでした。また、今回は昨年の後藤菜穂さんに続き、2 年連続での小坂中学校生徒の受賞でした。誠にありがとうございます。小坂での挨拶が当たり前の地域と新聞記事でのあるマンションの挨拶禁止のルールを定めた事例を取り上げた作品でした。

1 6 年（各務原保護区 3 年、下呂保護区 1 3 年）にわたって保護司を務められた前会長の青木正範さんが、長年の功績をたたえられ「法務大臣表彰」を受けられました。

また、後日には、永田会長と共に下呂市役所を訪れ、山内登市長に報告をされました。



1 月 21 日には下呂市役所を訪問し、山内市長へ受賞を報告しました。市長からは、「今後も中谷さんの感性を生かして、まちづくりに協力してほしい。」と呼ばけられました。また、永田会長からは記念品として、市内で販売している祈願グッズ「かなうわバット」が贈られました。



温かな存在

下呂市立小坂中学校 3年 中谷 友津

お隣さん又はご近所さん。家族や友人よりは繋がりが浅いが、赤の他人と比べると繋がりが深い人。ただ近所に住んでいるだけで、あまり関わりのない人も多いと思う。だが、私の周りでは気軽に会話し、家族のように私たちのことを支えてくれる存在だ。私の周りだけではない。小坂にはこのような関係が広がっている。私たちのこの「当たり前」の存在はとても尊いものだ。

私の近所には様々な家庭がある。少し年の離れたお姉さんがいる家庭、幼い子供がいる家庭、若い夫婦の住む家庭、年の近い子が住む家庭。私にとっては身近で当たり前な存在だ。朝、家の前を通りかかると手を振って「いってらっしゃい」と声をかけてくれ、帰ると「おかえり」と声をかけてくれる。部活の大会のことを話すと「よくやったね」と褒めてくれ、受験生になると「頑張ってるね」とエールを送ってくれる。だが、この関係が当たり前のことではない。そのことに気付いたのは、とある記事を見てからだ。

「挨拶禁止」

と、あるマンションではこのルールが定められた。私はこの記事にとっても驚いた。なぜ挨拶が禁止なのか。それならば近所の人と関係を築くことすらできないのではないのか。驚きと疑問を抱きつつ、記事を読み進めると、私は「挨拶禁止」以上に衝撃を覚えた。この記事に賛成の意見が少なからず拳がっていたからだ。「関わりたいくないからありがたい」「他人同士だから仕方ない」「防犯上正しいのでは」。今まで私はこのような考えを持ったことがなかった。だが、よく考えてみると今の社会はこれらの考えが当たり前になりつつあるのだと感じる。騒音や嫌がらせなどの近所トラブル、ストーカーや通り魔、誘拐など見知らぬ人によって加えられる危害。こうした事例を受け、このマンションは少しでも他人同士の接触を減らし被害を防ぐために「挨拶禁止」にしたのではないのか。だが、私はそうは思いたくない。せっかく近くに住んでいるのにも関わらず、家族だけのコミュニティで育っていくのは寂しい。こういった被害を防ぐためにも近所や身近な人との関りを増やすべきだと思う。

私は幼いころから近所の人たちから支えられて生活している。自転車の乗り方を教えてもらったり、怪我をした時には慰めてもらったり、災害が起こった時には避難情報を伝えてくれたり。そんな関係のもと、私は育ってきた。そのため、この関係は当たり前で、挨拶をし合うことなんてごく普通のことだと思っていた。だからこそ「挨拶禁止」の記事を見てとても驚いたし、酷く寂しかった。身の回りの近所の人との関係をそんな薄く済ましてしまったらもったいないと感じる。もし何かあった時に頼れる顔見知り、かつ自分の周りに住んでいる人。そんな存在が一人でもいると、誰かを頼れるという絶対的な安心感がある。近くに住む人と助け合える。それだけで一番の安全のもとになると私は思う。

もし家族が大きな怪我をしたり、事件に巻き込まれたり、周りに頼れる人がいなくなった時、あなたは誰を頼るのだろうか。こんな時にいる、ただ近くに住んでいる「ご近所さん」が一番頼れる存在になるのだと思う。私の身近なこの存在は温かく、そしてとても大切だ。

この関係が少しでも当たり前になり、助け合える関係が少しでも広がることで、社会がより温かく優しいものになってほしい。以上が、温かいこの町で育った私の願いです。

3月予定表（サポートセンター当番）

月	日	曜日	行 事 名	午前(9:00～12:00)		午後(12:00～15:00)	
3	1	日					
	2	月		永田光由	山中麦子	高井範和	山中麦子
	3	火					
	4	水	広報委員会	都築保彦 永田光由	可児正充 柏木寛隆	大江真人	
	5	木					
	6	金		高井範和	山中麦子	高井範和	
	7	土					
	8	日					
	9	月		永田光由	山中麦子	都築保彦	山中麦子
	10	火					
	11	水		高橋典子	大江真人	大江真人	垣内新子
	12	木	代表者会議 (岐阜市・会長)				
	13	金		永田光由	山中麦子	山中麦子	垣内新子
	14	土					
	15	日					
	16	月		大江真人	山中麦子	大江真人	山中麦子
	17	火					
	18	水		都築保彦		永田光由	
	19	木					
	20	金	春分の日				
	21	土					
	22	日					
	23	月		永田光由	山中麦子	高井範和	山中麦子
	24	火					
	25	水		高橋典子	大江真人	大江真人	
	26	木					
	27	金	広報委員会	都築保彦 永田光由	可児正充 柏木寛隆	山中麦子	
	28	土					
	29	日					
	30	月		永田光由	高井範和	高井範和	高橋典子
	31	火					